

令和6年度 菊川市立小笠東小学校 グランドデザイン

令和5年度の取組 自分もみんなも(主体性を)ぐんぐんのぼす

- 1 「認めてのぼす」PDCA サイクルサイクルの確立
見つける のぼす つなげる
- 2 温かな土壌づくりと徹底した危機管理
- 3 「可能性」をのぼす「活動づくり」「学びづくり」
- 4 地域とともにある学校をめざす「岳洋学舎連携」

令和5年度の子どもの実態

- 1 「自分もみんなも主体性をぐんぐんのぼす」の具体的姿を共有している。
「そうだ、〇〇してみよう」を合言葉にして、児童会を中心にして見つけた学校の未来像「た 対話の ち 力、 つ つなげて発表、て てでくる考え、と とどける反応、たちつてと」の共有
- 2 「思いやり環境」が「当たり前のこと」として意識が高まっている。
児童発「ぺこりあいさつ」の継承と進化
- 3 地域や社会の一員としての参画意識が向上している
総合的な学習の時間の充実 企業や地域との連携の意図的・計画的実施
- 4 学ぶ意欲を継続する必要がある。
項目「授業に主体的に取り組んでいる」「授業がよくわかる」の肯定的評価低下
「もっと学びたい」「失敗と成功を繰り返して成長する」力の向上が必要

岳洋学舎教育目標(R2年度～)
自信をもち 自分の力を発揮する子

重点目標 学ぶ意欲を 明日に、明後日に、将来につなげよう

めざす子どもの姿を実現するための学校の姿

- 1 共に自己肯定感を高める学校 「みんなで何かをするのは楽しい」と肯定的評価をする児童 90%以上
- 2 児童が主体的に学ぶ学校 「授業に主体的に取り組んでいる」と肯定的評価をする児童 90%以上
- 3 地域とともにある学校 「地域や学校をよくするために何をすべきかを考えることがある」と肯定的評価をする児童 70%以上

「学ぶ意欲」の継続をめざす PDCA サイクル

「もっともっと学んでみたい」 を見つける1学期 未来像を共有する。 「できそうだ」のヒントを見つける。	「もっともっと学んでよかった」 を実感する2学期 失敗と成功を積み重ねる。 「おもしろい」を実感する。	「もっともっと学びたい」 を明日につなげる3学期 成長の過程を未来につなげる。 「学ぶ意欲」をとめられない。
--	--	---

温かな土壌づくりと徹底した危機管理で安心・安全な学校

思いやり環境による人権意識の向上	危機管理の日常化
相手を尊重した呼び方や言葉遣い、整理整頓、椅子をしまう等気持ちの良い生活、特別支援教育を基盤にした学校づくり 多様性を認め合う温かな人間関係、目の届かない時間と場所の確認で変化を見逃さない体制、「学校いじめ防止基本方針」に基づく迅速かつ適切な対応	「いざというとき」に発揮する歩行等生活習慣 徹底した防犯体制 「新しい生活様式」による衛生管理 高所掲示や突起物等危険箇所点検 様々な場面を想定した訓練

失敗と成功から学ぶ「活動づくり」

児童が考えた方法で迫る学校像
児童発「ぺこりあいさつ」の継承
100回挑戦する「心のチャンピオン」を目指す。

「学ぶ意欲」の継続と向上をめざす「学び(授業)づくり」

「できそうだ、おもしろい、意欲を止められない」を実感する授業づくり
本と人に触れる機会の計画的設定

地域とともにある学校をめざす「岳洋学舎連携」

「総合的な学習の時間」を中心にした地域参画意識の向上、「学びの庭」を意識した情報発信